

高齢者への虐待をなくすために

身近な「気づき」から始める地域の見守り

高齢者への虐待はあってはならない行為ですが、私たちの暮らす地域や家庭の中でも起こりうる身近な問題です。支援の手が届きにくい環境など、様々な背景が絡み合っていて起きています。高齢者の尊厳を守り、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるために、「虐待」について一人一人の正しい理解と気づきがとても大切です。

? 虐待とは何でしょうか

「虐待」と聞くと、殴る・蹴るといった行為を思い浮かべるかもしれません。

しかし、虐待はそれだけではありません。

心理的虐待

- ・怒鳴る、罵る、ばかにする
- ・「役に立たない」「迷惑ばかりかけて」といった言葉を繰り返す
- ・話しかけられても無視をする、わざと仲間外れにする

経済的虐待

- ・年金や給料などを本人に知らせず、勝手に使う
- ・本人が必要なものを買うためのお金を渡さない
- ・財産や通帳を無断で処分・引き出す

身体的虐待

- ・殴る、蹴る、つねる、平手打ちをする
- ・無理やり食事を口に入れる
- ・ベッドやいすに縛りつけて動けなくする
- ・外出や人との接触を意図的に妨げる

介護・世話の放棄・放任（ネグレクト）

- ・食事や水分補給、服薬を十分にさせない
- ・入浴、着替え、トイレなど必要な介助をしない
- ・ゴミや汚物で不衛生な環境に放置する
- ・医療や福祉サービスを受けさせない

性的虐待

- ・本人の同意のない性的な行為やその強要
- ・わいせつな言葉を浴びせる
- ・裸にする

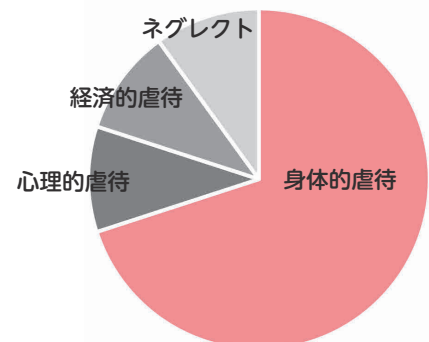
▽ 毛呂山町の高齢者虐待通報の推移

令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
10件	8件	14件	13件	14件	10件

ここ6年間の統計を見ると、年間平均11件程度の通報を受けています。数十年前よりも通報件数としては増加している状況です。

身体的虐待が多いですが、ネグレクトや年金搾取を含めた経済的虐待も見られます。

令和6年度 虐待の種別・類型



虐待の件数は年々増えていますが、その一方で、している側は虐待という自覚がなく、受けている側も疾病などの影響で虐待だと気づけないことも少なくありません。そのため、周りも問題に気づかずに、表に出る頃にはかなり深刻になっている場合もあります。

高齢者虐待が発生する要因

介護負担の増大

介護疲れ・休めない・ストレスの蓄積

余裕がなくなり、**強い言い方や乱暴な対応につながりやすくなります。**

認知症など症状への対応の難しさ

徘徊、昼夜逆転、怒りっぽさ等で衝突が増え、**関係が悪化しやすくなります。**

経済問題や家族関係のもつれ

お金・相続・長年の確執

金銭トラブルや支配関係が背景となり、**虐待につながる場合があります。**

孤立・抱え込み

相談先がない／知らない、第三者の目が入りにくい

家庭内で問題が見えにくく、**深刻化しやすくなります。**

介護する側／される側の心身・生活上の問題

うつや不眠、体調不良、アルコール問題などがあると、**適切な対応が難しくなることがあります。**

虐待は誰もが直面するかもしれない問題です

虐待は、してはいけない行為であることには変わりはありませんが、上記のような状況では介護者も追いつめられ、疲弊してしまいます。こうした背景に早く気づき、高齢者だけでなく、支える家族を含めて支援していくことが、虐待を防ぐ大切なポイントです。

虐待を他人事にせず、**気にかける・声をかける・相談する** という小さな行動を、地域全体で積み重ねていきましょう。

高齢者虐待防止の相談・通報

虐待の発生防止と早期発見のために…

介護の悩みはケアマネジャーや毛呂山地域包括支援センターへ相談を！

高齢者虐待はどこの家庭でも起こりうる身近な問題です。「虐待者＝悪者」ではなく、虐待の起こる要因を探り、虐待をしている人も支援することが大切です。介護をしている人の負担を軽くするために、介護保険サービスや地域活動などを利用してみましょう。

地域の「気づき」「見守り」が虐待防止につながります！

介護をしている人は地域から孤立しがちです。周囲の人の日頃からの声かけや挨拶が大切です。

一緒に解決方法を
考えます!!

認知症への正しい理解と対応を！

全国的にも認知症の高齢者に対する虐待が多い傾向にあります。介護者が認知症を正しく理解することで、心構えや落ち着いた対応ができ、認知症の症状が穏やかになることがあります。



ためらわずに、すぐ連絡してください！

虐待を早期発見することで、虐待の深刻化を防ぐことができます。

迷った時、心配になった時点で、まずは連絡してください。

「こんなことで電話してもいいのかな？」 そう思った時こそ、相談していただきたいタイミングです。

虐待を防ぐ第一歩は、あなたの気づきと一本の電話から始まります。

※通報した人の情報が、他に漏れることはありません。

毛呂山町 地域包括支援センター	☎295-2112 FAX 276-1013
地域包括支援センター 悠久園支所	☎295-2000 FAX 295-9700
地域包括支援センター 支所 HAPPINESS館	☎276-1878 FAX 276-1883
地域包括支援センター ななふく苑支所	☎276-5313 FAX 276-5317
毛呂山町役場 高齢者支援課	☎295-2112 FAX 276-1013

▶ 緊急の場合は警察に通報してください